

こんな「まつおか」の子に

まじめな心を持つ子・つかんで学びとる子・おもいやりのある子・からだをきたえる子
永平寺町松岡小学校

1 取り組みの概要**(1) 地域や家庭と学校の連携実績**

項 目	回 数
地域・学校協議会	2 回
中学校区を単位とした協議会	0 回
地域及び家庭への学校公開	4 回 (のべ) 8 日

(2) 地域人材の活用 (のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	25 人
授業ボランティア (含: 低ボラ)	23 人
登下校支援ボランティア	1000 人
その他 (見守り隊パトロール)	600 人

(3) 特色ある活動

テーマ「 登下校の安全 」

～具体的活動内容～

①登校時の見守り

本校の校区には、福井市への通勤の車が走る幹線道路がある。児童の通学路には、その幹線道路を横断したり幹線道路の歩道を歩いたりする区間がある。そこで、校区の 11 箇所の交通量の多い交差点や見通しの悪い交差点に、毎朝保護者が横断旗を持って立ち児童の見守りを行っている。特に交通量の多い交差点 5 箇所には、交通指導員も立って指導してもらっている。

②下校時の見守り**<下校見守り活動>**

保護者 3 人 1 組で、毎日児童の下校時に合わせて校区を車で巡回パトロールしている。低学年の下校の少し前に校区を巡回し、地区住民に戸外へ出て児童を見守るよう呼びかけるアナウンスのテープを流すようにしている。ゆっくり走りながら、校区を 2 巡する。その間、低学年児童の下校に出会うと、危ない歩き方をしている児童の指導もする。巡視で気づいたことを、日誌の形で残し学校職員の指導に役立てている。

**<下校ボランティア>**

低学年を中心に、現在 45 名のボランティアが下校見守りに参加している。学校まで来て児童と共に歩く人、通学路途中で待っていてそこから児童と歩く人と形態は様々である。学校からは、学年始めに曜日ごと・学年ごとの下校時刻をボランティア参加者に知らせてある。また、行事等で時刻の変更が生じた場合は、月ごとに変更のある日時をボランティア参加者に知らせている。

<かけこみ所>

校区に 95 箇所ある。リュウピーのキャラクターが付いたステッカーが目印になっている。学年始めに、登校班ごとにそれぞれのかけこみ所の場所を確認したり見守りのお願いをしたりした。夏休み前には、児童代表が休業中の見守りを依頼する手紙を持参しお願いした。

～成果と課題～

たくさんの大人の目で子どもを見守っていることで、交通安全だけでなく不審者への対応にもなっている。また、大人が声を掛けることで挨拶の指導にもなっている。学校では、語勢のある大きな声で挨拶することを励行しているが、地域でも育てていく体制になっている。